

## 第490回食品安全委員会、岡田副大臣、福岡政務官からご挨拶をいただきました

2013年10月7日に開催された第490回食品安全委員会で、食品安全担当となられた岡田広内閣府副大臣、福岡資麿内閣府大臣政務官からご挨拶をいただきました。

### 岡田副大臣

「食品をめぐるリスクが多様化する中、国民一人ひとりがリスクを正しく理解しつつ食品を選ぶことができるよう、食品安全委員会は、科学的知見に基づき、中立公正な立場から

リスク評価を行っている」と理解しています。今後も、リスク評価機関として引き続きその機能をいかんなく発揮し、食品に関する主要なリスク管理機関である厚生労働省、農林水産省と連携しつつ、食品の安全性がさらに向上されることを、強く期待しています」

(※内容抜粋)

### 福岡政務官

「食品に対する国民からの信頼を確保するた



食品安全担当となられた岡田副大臣(左)と福岡政務官(右)

めには、リスク評価の結果をわかりやすく国民に情報提供することが重要です。食品安全委員会には、引き続きその役割を全うされることを期待しています」(※内容抜粋)



第490回 食品安全委員会 <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20131007sfc>

## 食品安全委員会専門調査会専門委員の改選が行われました

食品安全委員会では、12の専門調査会を設置し、専門分野に関する調査審議を行っています。この度、専門委員(178名のうち135名)の任期満了に伴い改選を行い、2013年10月1日付けで新たな専門委員を委嘱しました。

専門委員は学識経験者で、各専門調査会で担当分野について審議を行っています。また企画等専門調査会では、委員会の活

動に関する年間計画、委員会が行うリスクに関する事項、緊急時対応のあり方などに関する事項等について審議しています。なお、企画等専門調査会では委員の公募を行い、今回新たに2名の公募委員が加わりました。

各専門調査会の専門委員の数と女性比率は表のとおりで、全体の女性比率は30%を超えました。

(単位：人、%)

	男	女	計	女性比率
専門委員合計	140	65	205	31.7

専門調査会名	男	女	計	女性比率
企画等	13	16	29	55.2
添加物	11	6	17	35.3
農薬	29	7	36	19.4
動物用医薬品	14	4	18	22.2
器具・容器包装	8	4	12	33.3
化学物質・汚染物質	17	5	22	22.7
微生物・ウイルス	12	5	17	29.4
プリオン	12	3	15	20.0
かび毒・自然毒等	10	4	14	28.6
遺伝子組換え食品等	9	2	11	18.2
新開発食品	10	5	15	33.3
肥料・飼料等	12	6	18	33.3

※今回改選の専門委員を含む。  
※複数の専門調査会を兼任することがあるため、各専門調査会の人数の和が合計と一致しない。



食品安全委員会ホーム>専門調査会別情報 [http://www.fsc.go.jp/iinkai/kaisen\\_251001.pdf](http://www.fsc.go.jp/iinkai/kaisen_251001.pdf)

## 食品安全委員会が今後取り組む情報提供の方法について

食品安全委員会では、季刊誌『食品安全』のほか、ホームページにおいて、委員会や意見交換会等の資料や概要、食中毒等特定のトピックに関する科学的知見等を随時掲載しています。特に国民の関心が高いと考えられる事案については、「重要なお知らせ」または「お知らせ」を活用して情報提供を行っています。

また、食品安全委員会の活動や委員会からのお知らせをタイムリーにお届けするために、『食品安全e-マガジン』として、[1]

ウィークリー版(委員会開催日の翌日に配信)、[2]読み物版(実生活に役立つ情報等を月の中旬と下旬に配信)を行っています。

現在、Facebook(フェイスブック)等を用いた情報発信の実施に向け、検討を行っています。併せて、ホームページへのアクセ



ス数やメルマガ登録者数の増加を図るための取組も進めていく予定です。



第8回企画等専門調査会 <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20131128k1>